



キク編



病害虫注意報
2017年8月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

・高温期は立枯れ症状、ハスモンヨトウ、オオタバコガが増加します。オオタバコガは生長点を食害するため出荷できなくなります。また成長すると芽に潜ったり薬剤の効果が低下する為、若齢幼虫期の防除を徹底しましょう。ハダニ類・アザミウマ類も先月に引き続き発生しますので定期的な農薬の散布を行いましょう。また、立枯れも増加しますので、定植前の粒剤、もしくは薬剤の灌注を行いましょう。

今月のおすすめローテーション

定植時

立枯病 (リゾバ菌)	ユニフォーム粒剤	18kg/10a 土壌表面散布 定植時または生育期/3回
ミカンキロアザミウマ、ハマグリバエ、アブラムシ類	ベストガード粒剤	2g/株 発生初期/4回 (アブラムシ類は1~2g/株)

生育初期

ミカンキロアザミウマ、ヨトウムシ類 ミナミキロアザミウマ、ハダニ類 オオタバコガ、アザミウマ類	コテツフロアブル	2,000倍 発生初期/2回
ハダニ類	ニッソラン水和剤	2,000~3,000倍 -/2回

破蕾期

アザミウマ類、コガラムシ類、ハマグリバエ類、オオタバコガ	ディアナSC	2,500~5,000倍 発生初期/2回 (コガラムシ類: 2,500倍)
ミカンキロアザミウマ ハダニ類	アグリメック	500倍 発生初期/5回

消灯時

アブラムシ類、ハダニ類 ミカンキロアザミウマ	アーデント水和剤	1,000倍 発生初期/5回
ミカンキロアザミウマ ハマグリバエ	カスケード乳剤	2,000倍 -/3回
オオタバコガ ハスモンヨトウ	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍 (ハスモンヨトウ 2,000~4,000倍) 発生初期/4回

発蕾期

アザミウマ類、オオタバコガ	プリンスフロアブル	2,000倍 発生初期/5回
ハダニ類、ハマグリバエ類	コロマイト乳剤	1,500倍 -/2回
ミカンキロアザミウマ	アフファーム乳剤	1,000~2,000倍 発生初期/5回

おすすめ資材



★グリシンベタイン新配合★

優れた展着性と浸透性

トレハロースや有機酸に加え、新配合のグリシンベタインでカルシウムがキレート化され、浸透性や移動性が向上しています！

ファイトカル リニューアル！

注意！

以下のものは混用できません！！

ストロビルリン系(アミスター、ストロビー、シグナムなど)、無機銅(カッパーシン、Zボルドーなど)、ホルモン剤、微量元素入り葉面散布剤、液肥類

※地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますので、ご注意ください。さらに、展着剤、葉面散布剤などを加用する場合も、ご注意ください。